

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0194100251		
法人名	医療法人社団		
事業所名	グループホーム ウィスタリア(1階ユニット)		
所在地	北海道釧路市堀川町8番30号		
自己評価作成日	平成30年1月20	評価結果市町村受理日	平成30年4月9日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	hlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigvosyoCd=0194100251-008
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 NAVIRE
所在地	北海道北見市とん田東町453-3
訪問調査日	平成30年3月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・認知症になっても自分らしく過ごせ、心安らぐ居場所となるように関わりを持つように努めています。 ・四季折々の風情を楽しみながら心穏やかに暮らせる環境です。 ・出来るだけご本人の意思や意向を尊重し、出来る事やしてみたい事を不安無く行えるよう援助しています。 ・目の前に大きな公園がある環境に立地しており、四季折々の風情を楽しみながら、又、外気浴を楽しんだり歌が好きな入居者様が多いので、日々、レクリエーションで歌を取り入れています。入居者様の人生がもっと楽しく生きがいを謳歌できる支援を続けて行きたいと思っています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を玄関に掲示し、職員は意識しながらサービスを提供しており、理念の共有が出来るように毎日の申し送り時に唱和しケアの実践に繋げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的に日々の散歩、外出、買い物の中で地域の方々と交流する機会を設けている。又、地域の方が気軽に訪問して頂ける事業所を目指している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括支援センター主催のSOSネットワーク模擬訓練への参加、地域カフェについての紹介をしている。施設見学や入居差相談についても積極的に受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	同事業所と合同で開催し、日常の生活の様子や行事等の報告をし現状について意見交換を行い、話された内容は家族にもお便りで報告をしている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センター職員との情報交換や、介護支援専門員合同連絡会議に参加して連携をとれるようにしている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は玄関はオープンにしている。安心して出掛けられるように常に目配りや寄り添ったケアで安全に配慮している。又、転倒事故も発生した為、センサーの導入やベッドから布団対応への変更等、その人の状況に応じた。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	学習会を行い、虐待防止法について話し合い、日々のケアを振り返り言葉の拘束にも繋がらないよう、意識を高めるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	言葉や制度として有る事は理解しているが、福祉を仕事としている職員として今後、研修等で学習の機会があれば参加していきたい。現在、入居者の中で必要とする方はいない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご本人同様不安に思っているおられるご家族に安心して利用していただけるよう契約書および重要事項説明書で丁寧な説明をしている。納得していただけるよう十分な時間を割いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が気軽に訪問に来られる雰囲気作りや、苦情や相談窓口を設置し要望等が出た時は、早期に解決できるように取り組んでいる。又、ホームに来て頂く機会を増やすために行事への参加も働きかけている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議やユニット会議の中で、意見や提案を聞く機会となっている。話し合いの良い機会となり、反映に繋げている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きやすい職場環境、働き甲斐のある職場作りを目指し、職員の意見や要望を聞く機会を持っている。出された意見等は積極的に取り入れて改善や向上の機会に繋げている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修内容を早めに告知すると共に、事業所以外での研修に参加し学びの機会を設けている。又、些細なことでも必ず職員同士がケアの確認をする事でチームワークの勉強に繋げている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホーム連絡会への参加や外部研修への参加により、職員の資質向上に取り組んでいる。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前には必ず本人と面談をし本人の置かれている状況や心身の状況、本人の思いを知り、職員が本人に受け入れられる、安心できる、馴染みの関係になれるように努力している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族には必ずホームを見学して頂いたり、面談では家族からの希望や要望、大変な点を聞いて、抱えている不安等を把握するように努めている。入居後は必ず本人の状況をお伝えする事にして、信頼関係を築いていくよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の面談を重視して当面の目標や働きかけを全職員で共通理解を図っていく。必要に応じて主治医や入居前のケアマネジャーやサービス事業所の方からの情報提供や助言を受けている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者は人生の先輩であるという考えを職員が共有し入居者の得意分野で力を発揮して頂きながら色々と教えて頂く事もある。喜怒哀楽を共にしながら助け合って安心して穏やかに生活できるようにしている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	普段の暮らしぶりを毎月お便りにしてお知らせしている。(出来る限り写真を添付)本人がこれまで通りの生活を送る為には家族の協力が必要不可欠で有る事を伝え、ホームと家族がそれぞれの役割を認識して安心して生活が出来るように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも家族や友人が訪ねて来て頂けるように気持ちよく受け入れが出来るよう配慮している。又、家族と一緒に、時には職員と馴染みの場所へ外出できるようにも配慮している。(墓参り等)		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	車椅子を押してあげたり、手を引いて歩いたり、入居者同士がお互いに支えあい協力しあう雰囲気がある。日中は殆ど入居者がフロアで過ごし、お茶や会話を楽しまれ、職員も一緒に過ごしている。新しい入居者も直ぐに馴染めるように職員が協力して寄り添っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居者の家族が退去後も行事への参加や遊びに来て頂いたり、中庭の畑を手伝って頂き近況を聞いたりしている。次の施設へスムーズに移行できるような支援や相談には応じている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者に対して担当制で対応している。最低限、担当者はその方の思いや希望、意向を常に把握し他の職員に伝え職員間で共有できるようにしている。又、意思疎通の難しい方も表情や行動、言葉から気持ちを汲み取るように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時までに本人や家族にこれまでの生活を必ず聞き、馴染みの物を持って来て頂き、安心して生活していただけるように支援している。入居後も必要に応じて家族に対して生活歴や嗜好品を教えていただくよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の関わりの中から一人一人の生活リズムや行動、出来る事や興味のある事等をつかみ、記録に記載したり、申し送りやケース会議で職員全員に共有できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族に思いや意見を聞きケアプランに反映させるよう努めている。日々の支援記録に基づいて、職員同士が意見交換してケアプランを見直したり、家族に説明を行い同意を得ている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、支援経過表に入居者一人一人の日々の様子や状況を適切に記録し(食事、水分量、血圧測定等)職員間で情報の共有しながらケアに活かしている。その他、職員間での申し送り、話し合いで必要時にはサービスや対応の見直しに繋げている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者や家族の要望には可能な限り対応している。特に通院の付き添い、送迎等、必要な支援や出来る事を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方や地域包括支援センターの協力をいただきながら利用できる地域資源を把握している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関及びかかりつけ医に対しての受診は家族と協力して行っている(通院介助の実施)かかりつけ医については、ホームに往診もあり、報告や相談、指導を受けられる体制になっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員の配置はしていないが、隣接の事業所の看護職員に必要に応じて相談や指導を受けられる体制になっている(月1回の健康チェックあり)又、かかりつけ医の往診や受診時には、入居者の状態や状況を伝えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には家族と一緒に病院に同行し情報提供を行っている。入院中は状態等を適時、家族やケースワーカー等に確認している。退院についても安心して元の生活に戻れるように、家族と一緒に退院指導を受けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時には家族等の要望をお聴きしたり、ホームで出来る事等を説明している。その後は病状や状態の変化に応じて、家族に対して意向を聞きながら主治医等と連携を図りながら取り組んでいきたい。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルを作成している。救急搬送対応の学習会を行っている。又、事故等の防止について「ヒヤリハット報告書」「事故報告」の提出を義務付けており、次の対応に活かせるように取り組んでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を実施している。訓練は深夜帯を想定して実施している。入居者も参加している。なお、地域の方への協力依頼も毎回行っているが、訓練への見学、参加は殆どない。備蓄品も用意をしている。訓練も火災だけでなく他の災害を想定して行う事も課題としている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの思いや考え、希望を尊重し無理強いせず、誇りやプライバシーを損ねない声掛けや対応等、職員同士が注意し合いながら日々、対応をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者との会話の中や接する場面では、自己決定を意識して声掛けや対応をしている。意思表示が困難な方には、本人の思いや気持ちに寄り添う表情や仕草で確認しながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな日課は決まっているが、一人ひとりのペースに合わせて支援するように努めている。時と場合には出来ない場面もあるが、職員の意識の中で常に希望に沿うように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	寝巻きから日中着の着替えは必ず行っている。朝は髪をとかしたりして身だしなみに気を使っている。訪問理容を使って定期的に髪を切っている。自己決定が難しい方には清潔が保てるように意識しながら本人の好みに合わせて支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや味付けに工夫をしている。テレビを観ながら、それぞれのペースで、ゆっくり食事をしている。職員も一緒に席につき会話をしながら明るい雰囲気を作り心を掛けている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者と一緒に食事をしているので、好みや食事、水分量の確認や把握が分かり、職員間で共有している。午前、午後に水分補給を行い、食事、水分量の少ない方への捕食の提供、食事の形態や量等、その人の状態に応じて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛けにて口腔ケアを行っている。見守りやケアが必要な方には適宜行い、口腔内の清潔保持に努めている。歯の状態に応じ歯科往診で対応している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表で、個々に応じた時間を見計らって誘導や声掛けを行っている。2名は常時オムツ使用であるが、他の方はトイレでの排泄に努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表で管理している。排便の観察を行い、食事や飲み物等（食物繊維や乳製品）の提供を工夫している。日中夜間を問わず水分補給に努め、運動の機会を提供するなど、便秘の解消に繋げるように取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週2回の入浴が出来るように計画し、午後浴で対応しゆっくりとゆとりある入浴を実施している。入浴を拒否する方には無理強ををするのではなく時間を置いて声掛けや働きかけを行っている。入浴剤を使い、くつろいだ気分で入浴して頂き、温度も個々に合わせて調整している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	メリハリのある生活が送れるように日中は活動の機会を増やすようにしている。一人ひとりの生活ペースや状態を見て休息が必要な方には休んで頂く等配慮をしている。夜間の不穏時には話を聴いたりお茶を出したりして安心して休めるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬等のミスが生じないように、処方箋の一覧表で確認しながらチェック、管理している。病状の変化が見られた場合は速やかにかかりつけ医に連絡している。副作用までとなると理解が不足している点があり、今後、把握するよう努めていきたい。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりが張り合いを持って過ごしていただけるよう、今迄暮らしてこられた中で得意な事や楽しみの持てる事を不安無く出来るように支援している。職員と入居者が力を合わせて物作りを行い、観賞をして楽しんでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日のゴミ出しや散歩、日光浴等、季節を考慮しながら提供している。又、季節を感じて頂けるよう季節に合った外出の行事を提供し歩行できない方も車椅子で回転寿司店に出掛ける等、年間行事での外出を計画し楽しい思い出作りをしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持していて安心感や生活にハリが持てる方には、高額にならず職員が把握できる範囲で自己管理して頂いている。その他の方は、お小遣い程度の現金を事務所の金庫で保管し、預かっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族や知人からの電話や手紙のやり取りは自由にしている。希望があれば本人から電話をしていただき、安心できるように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	我が家に居るような環境となるよう一般の家庭に近い環境になるように、又、居室にも馴染みの品物を持参して下さるよう入居時にお願いをしている。リビングの壁には季節毎の飾り付けやパッチワーク、絵等で家庭的な雰囲気作りをしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人の居室では寛げるよう馴染みの物を持参されており、お互いの居室を訪問される時もある。お互いに交流できるようソファや椅子の位置を工夫している。フローア内に飾り付けを行い、四季感や季節毎の行事への気づきとしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れた家具やテレビ、亡き夫の仏壇などを自由に持ち込んでいただいている。配置も本人の利便性に配慮して設置している。居室の整理などは入居者の同意を得て一緒に行っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共有空間のトイレ、浴室等は解りやすいように手作りの暖簾や表示板を付けていたり、事故防止の観点から必要箇所の手摺の設置、トイレでの転落防止の為にバーの設置等を含め、安全な環境作りに配慮している。		